

超少子化時代

平成28年の出生数は 100万人を割るのは確実

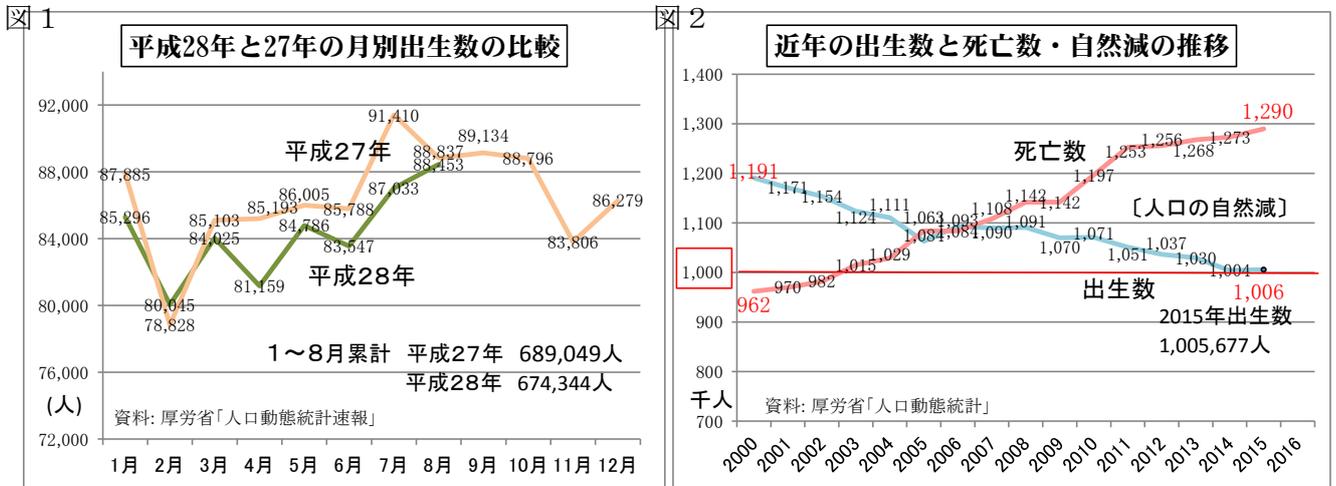
ネット上にも コピーは自由 データの誤用はご教示下さい 28.10.25 矢島義恭

1 出生数が100万人を割るのは確実

平成29年1月1日に厚労省より「人口動態統計の年間推計」により平成28年の年間出生数の推計値が公表される。(図2)のように、平成27年の出生数は1,005,677人で100万人を僅かに上回っていた。(図1)の月別出生数の推移が示すように、1月から8月の出生数の累計を比較すると、平成28年は674,344人で平成27年をすでに14,705人下回っている。平成28年の出生数が100万人を割るのが確実となった。

2 人口の自然減・人口減少幅もさらに拡大する

出生数と死亡数が公表されるが、その差の自然減もさらに拡大し、(図2)から年間約30万人規模と予測され、その分人口減少も進行していく。



3 年間の出生数は明治初期1880年代はじめの水準にまで減少した

